

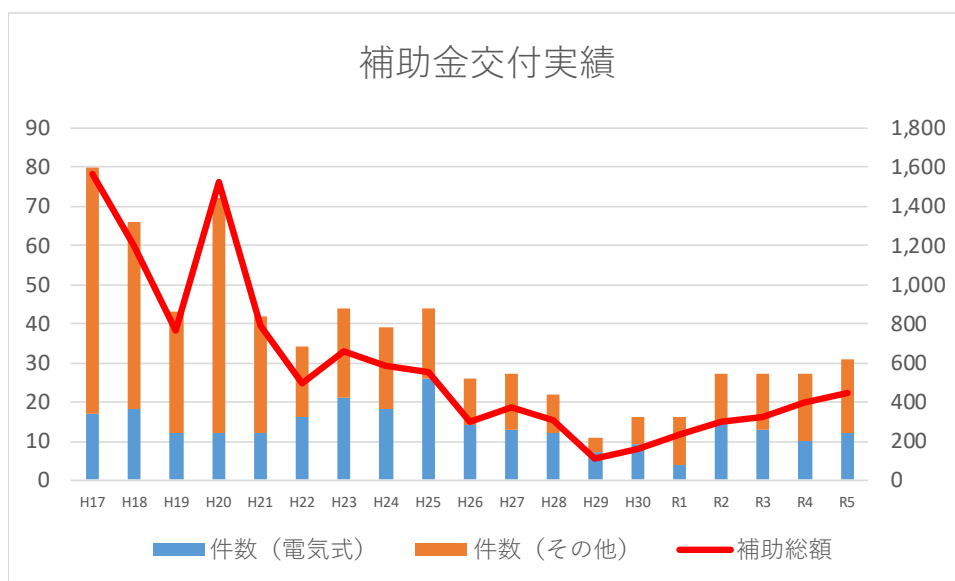
亀山市生ごみ処理容器購入費補助金交付制度の見直しについて

【見直しの背景・趣旨】

平成5年度に旧亀山市・旧関町それぞれで開始した「生ごみ処理容器購入費補助金」交付制度は、市内の各家庭から排出される生ごみの減量化及びたい肥としての資源化を積極的に推進するため、生ごみ処理容器の利用を促進し、もって、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図ることを目的としています。

平成17年度には、年間80件、交付額1,562千円と高い実績値を示しましたが、平成29年度には、11件、112千円まで減少しました。しかし、近年SDGsに対する意識の向上により、令和5年度は、31件、445千円と増加に転じており、令和6年度も増加する見込みとなっております。本制度は、所期の目的を効果的に遂行する補助制度ではあるものの、平成17年度の合併以降、金額等制度の大きな見直しは行われてきませんでした。

今回の改正における趣旨は、昨今の社会情勢や財政状況、近隣自治体の制度の運用状況等、刻々と変化してきていることに対して、実勢に則した制度へ改正を行うものです。



【県内他市の状況】

県内全市に補助制度に係るアンケート調査を行ったところ、次のような傾向を示しました。

（詳細は、別添アンケート調査集計表参照）

調査事項	各自治体の傾向
補助制度の有無	12市にて、同様の制度運用有（運用無：名張市）
補助金の交付実績	10市にて、件数・補助額が増加傾向にある。

補助限度額	ボカシ・コンポスト・手動攪拌式：3,000 円～30,000 円 電気式：3,000 円～40,000 円 消滅型：3,000 円～30,000 円 【北勢地区 及び 近隣市】					
	機種名	桑名市	いなべ市	四日市市	鈴鹿市	津市
	ボカシ	5,000 円	5,000 円	15,000 円	15,000 円	-
	コンポスト	5,000 円	5,000 円	15,000 円	15,000 円	3,000 円
	手動攪拌式	5,000 円	5,000 円	15,000 円	15,000 円	25,000 円
	電気式	15,000 円	5,000 円	15,000 円	15,000 円	25,000 円
	消滅型	15,000 円	5,000 円	15,000 円	15,000 円	25,000 円
補助金の交付対象者	個人単位：2 市 世帯・団体単位等：10 市					
一度の請求における補助対象の基数	対象者に対して 1～2 基：11 市 対象者に対して制限なし：1 市（鈴鹿市）					
補助金の再交付可能期間	毎年度：2 市 5 年後：6 市 6 年後：1 市 10 年後：1 市 その他：2 市（容器の種類によって期間が違う） 期間設定の理由：法定対応年数、減価償却期間等					

県内各市において、亀山市と同様に補助件数が増加傾向にあります。これらの対応策として、年度予算額を増額したり、流用等で対応したりしています。

一方、補助金の交付対象者は、世帯に絞る、一度の補助請求における対象の基数に制限をかける、補助金の再交付可能期間を設定するなど、市民全体に広く交付できるよう制度設計されています。

そのような中、亀山市の補助額（25,000 円/基）は、他の北勢地域の自治体と比較して、高水準で設定されています。

【市の交付実績の分析】

亀山市に交付請求のあった件数、及び、交付請求のあった生ごみ処理容器の平均購入価格は次のとおりとなります。

対象容器	ボカシ	コンポスト	手動攪拌式	電気式	その他
平均購入価格	12,210 円	8,111 円	28,810 円	45,895 円	11,050 円
件数	1	26	1	37	2

※調査対象：令和 4 年 4 月 1 日～令和 6 年 7 月 31 日までに交付請求のあった案件

※高額商品（90,000 円以上）は対象から除外（除外件数 電気式：8 件）

「ボカシ」・「消滅型」・「コンポスト」の購入価格は、一部サンプルは少ないものの、補助上限額を大きく下回ります。

一方、「手動攪拌式」「電気式」は高価であり、特に、電気式は平均購入価格からもほぼ現行制度の

交付上限額近くの補助金交付となっていますが、より広く市民に交付するため、また、近隣市の状況も踏まえ、すべての対象容器において、上限額の引き下げを検討すべきと考えられます。

【改正内容】

財政的措置が厳しく廃止も視野に入れるべきところではありますが、市民における SDG s の意識醸成等により交付実績は増加に転じていること、及び、北勢地域及び近隣市の補助額・交付件数の実績、過去の交付実績の分析等を踏まえ、より多くの市民への支援制度を活用いただき、引き続き所期の目的を遂行すべく、本制度を次のように改正したい。

なお、本制度改正後、5 年を目途とし、本制度の実効性を再検証し、必要に応じて本制度の在り方自体についても検討することといたします。

項目	改正前	改正後	改正理由・根拠
補助件数総数	制限なし	要綱に予算の限りを明記	予算内の交付件数とするため
補助額上限の変更	ボカシ：25,000 円 コンポスト：25,000 円 手動攪拌式：25,000 円 電気式：25,000 円 その他：25,000 円	ボカシ：15,000 円/基 コンポスト：15,000 円/基 手動攪拌式：15,000 円/基 電気式：15,000 円/基 その他：15,000 円/基	予算措置が限られる中、増加する件数に対応すべく、上限額を減額し件数を確保する。 上限額は当市の実績報告(購入価格)、近隣市の補助基準を参考に設定(要綱第 4 条)
対象者の変更	個人単位	世帯単位(世帯主)	1 世帯に次の対象基数以上、不要なため(要綱第 3 条)
補助対象の基数	制限なし	電気式・手動攪拌式： 1 基/世帯 その他：2 基/世帯	電気式・手動攪拌式は、屋内用であり、世帯に複数台不要のため。その他の機種は、発酵等に時間がかかるため、2 台まで同時購入可。【申請は 1 回】(新規条項追加)
補助金の請求期間	購入した日から 90 日以内	購入した日から 60 日以内又は、当該年度の末日のいずれか早い日	単年度予算であり、年度をまたぐ申請を回避するため(要綱第 5 条)
再度交付申請できるまでの期間	制限なし	5 年間	近隣市の設定状況、法定対応年数等を基に期間を設定(新規条項追加)
補助金の手続き	購入⇒補助金請求⇒支払	購入⇒交付申請兼補助金請求⇒交付決定⇒支払	「予算の限り」対応により交付決定が必要となるため(新規条項追加)

※補助率の 2 分の 1 は変更なし。